

リスク管理債権情報

<貸付金> (単位:千円)

区 分	平成18年度
破綻先債権額(A)	870,696
延滞債権額(B)	2,885,872
3ヶ月以上延滞債権額(C)	139,939
貸出条件緩和債権額(D)	929,528
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	4,826,037
貸付残高(F)	10,775,899
比率(E) / (F) × 100	44.79%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

<保証債務> (単位:千円)

区 分	平成18年度
破綻先債権額(A)	419,630
延滞債権額(B)	653,563
3ヶ月以上延滞債権額(C)	27,559
貸出条件緩和債権額(D)	346,957
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	1,447,710
保証債務残高(F)	8,920,119
比率(E) / (F) × 100	16.23%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

<求償権> (単位:千円)

区 分	平成18年度
破綻先債権額(A)	1,908,823
延滞債権額(B)	1,503,412
3ヶ月以上延滞債権額(C)	0
貸出条件緩和債権額(D)	0
合計(E)=(A)+(B)+(C)+(D)	3,412,236
求償権残高(F)	3,412,236
比率(E) / (F) × 100	100.00%

(注)単位未満を切り捨ててあるので、合計は端数において一致しません。

破 綻 先 債 権 額 (A) 会社更生、破産、民事再生手続開始、整理又は特別清算の申立てにかかると貸付の元金残高。

延 滞 債 権 額 (B) 自己査定における破綻懸念先と実質破綻先の元金残高。

3ヶ月以上延滞債権額 (C) 弁済期限を3箇月以上経過して延滞となっている貸付の元金残高で、破綻先債権額及び延滞債権額に該当しないもの。

貸出条件緩和債権額 (D) 債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として元本の返済方法の変更及び貸付期間の延長の措置を図った貸付先の元金残高で、破綻先債権額、延滞債権額及び3ヶ月以上延滞債権額に該当しないもの。